



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月4日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4559 URL <https://www.zeria.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊部 充弘

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 西澤 知幸

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 2020年11月9日

配当支払開始予定日

2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	26,809	11.6	1,388	20.2	1,097	32.6	1,218	1.0
2020年3月期第2四半期	30,317	0.5	1,738	16.0	1,628	15.0	1,230	46.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,809百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 0百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	26.36	
2020年3月期第2四半期	26.16	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	106,167	53,388	50.1	1,153.59
2020年3月期	104,155	52,678	50.4	1,134.30

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 53,225百万円 2020年3月期 52,510百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		17.00		17.00	34.00
2021年3月期		17.00			
2021年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,000	0.9	4,300	5.0	3,900	0.5	3,300	12.8	71.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	53,119,190 株	2020年3月期	53,119,190 株
2021年3月期2Q	6,980,224 株	2020年3月期	6,825,944 株
2021年3月期2Q	46,206,490 株	2020年3月期2Q	47,024,857 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 販売実績	11
(2) 主要製商品売上高 連結	12
(3) 新薬パイプラインの状況	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は、268億9百万円（前年同四半期比11.6%減）となりました。利益につきましては、営業利益13億88百万円（前年同四半期比20.2%減）、スイスフラン高の進行による為替差損の発生により、経常利益10億97百万円（前年同四半期比32.6%減）となりました。なお、特別利益として債務取崩益を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億18百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」につきましては、国内市場では、競合品や後発品の影響に加え、2019年10月と2020年4月の2度にわたる薬価改定の影響を受けたものの、2020年3月末に協和キリン株式会社との販売提携を終了し、2020年4月以降に当社単独販売となったこともあり、売上は前年同四半期を上回る結果となりました。また、海外市場においても、引き続きイギリス、北欧などの国々で売上が拡大いたしました。一方、炎症性腸疾患（IBD）治療剤「Entocort」（国内販売名：「ゼンタコート」）につきましては、一部の国では堅調に推移したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響による出荷遅延などもあり、全体としては苦戦しました。機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド」につきましては、引き続き内視鏡実施医療機関を中心に潜在的な機能性ディスペプシア患者の掘り起しに努めておりますが、新型コロナウイルス感染拡大下での受診抑制などの影響により苦戦いたしました。なお、2020年9月に鉄欠乏性貧血治療剤「フェインジェクト静注500mg」を発売いたしました。本剤が鉄欠乏性貧血治療の新たな選択肢として、患者様に貢献できるものと期待しております。

これらの結果、当事業の売上高は、144億94百万円（前年同四半期比7.6%減）となりました。

## ②コンシューマーヘルスケア事業

殺菌消毒薬などの衛生用品につきましては売上が伸びましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛措置やインバウンド需要の減少、他社製品との競合激化などにより、主力製品である「ヘパリーゼ群」や「コンドロイチン群」をはじめとして、全体としては苦戦を余儀なくされました。

なお、当第2四半期連結累計期間に、「コンドロアミノCa錠」、「プレバリンマイケア」などの販売を開始いたしました。引き続き市場ニーズに沿う製品の拡充に努めてまいります。

これらの結果、当事業の売上高は、122億37百万円（前年同四半期比15.9%減）となりました。

## ③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は77百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,061億67百万円となり、前連結会計年度末対比20億11百万円の増加となりました。その内訳は流動資産が365億42百万円で、前連結会計年度末対比15億22百万円の増加、固定資産が696億25百万円で、前連結会計年度末対比4億89百万円の増加となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加1億8百万円、受取手形及び売掛金の増加1億94百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加15億90百万円、前渡金の減少等流動資産のその他の減少3億75百万円であります。また固定資産の増減の主なものは、有形固定資産の増加6億91百万円、無形固定資産の減少11億32百万円、投資その他の資産の増加9億31百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は527億78百万円となり、前連結会計年度末対比13億1百万円の増加となりました。その内訳は流動負債が429億2百万円で、前連結会計年度末対比18億32百万円の増加、固定負債が98億75百万円で、前連結会計年度末対比5億30百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、短期借入金の増加51億43百万円、未払法人税等の増加1億61百万円、賞与引当金の減少2億35百万円、未払金の減少等流動負債のその他の減少32億75百万円であります。固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少6億3百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は533億88百万円となり、前連結会計年度末対比7億10百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上12億18百万円、前期末配当の実施7億86百万

円、自己株式の増加3億9百万円、その他有価証券評価差額金の増加7億72百万円、退職給付に係る調整累計額の減少2億16百万円等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.3%低下し、50.1%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、期首残高対比1億8百万円増加し、89億88百万円となりました。これは、主に投資活動によるキャッシュ・フローが43億47百万円のマイナスであったものの、営業活動によるキャッシュ・フローが12億6百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが31億67百万円のプラスであったためであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は12億6百万円の資金の増加となりました（前年同四半期比11億28百万円減）。これは、税金等調整前四半期純利益の計上17億68百万円、減価償却費の計上18億19百万円、のれん償却額の計上3億42百万円、売上債権の減少6億76百万円、たな卸資産の増加9億17百万円、仕入債務の減少1億2百万円、その他の流動資産の減少2億87百万円、その他の流動負債の減少16億53百万円、退職給付に係る資産の増加4億40百万円、法人税等の支払い3億77百万円等によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は43億47百万円の資金の減少となりました（前年同四半期比42億68百万円減）。これは、有形固定資産の取得による支出2億15百万円、無形固定資産の取得による支出17億90百万円、投資有価証券の取得による支出23百万円、投資有価証券の売却による収入1億98百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出24億64百万円等によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は31億67百万円の資金の増加となりました（前年同四半期比53億26百万円増）。これは、短期借入金の増加47億99百万円、長期借入れによる収入10億円、長期借入金の返済による支出14億26百万円、自己株式の取得による支出3億9百万円、配当金の支払い7億84百万円等によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の収束は引き続き不透明な状況ではありますが、医療用医薬品事業におきましては、アサコール、エントコートが国内外で堅調に推移する見込みであること、さらには、2020年9月に発売したフェインジェクトが売上に寄与するものと見込んでおります。なお、上期には苦戦することとなりましたエントコートはカナダ向けなどの出荷の再開により、すでに回復基調となっております。また、コンシューマーヘルスケア事業におきましても、引き続き新製品の投入を予定しており、第3四半期以降の回復を見込んでおります。以上により、2020年8月に公表いたしました通期公表値から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,005,252	9,113,321
受取手形及び売掛金	13,369,323	13,564,273
商品及び製品	5,466,981	6,364,389
仕掛品	1,282,560	1,211,098
原材料及び貯蔵品	2,813,829	3,578,162
その他	3,212,623	2,837,281
貸倒引当金	△130,566	△126,392
流動資産合計	35,020,004	36,542,134
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,817,619	7,139,523
土地	11,660,142	12,349,527
その他(純額)	4,647,674	4,327,719
有形固定資産合計	23,125,436	23,816,770
無形固定資産		
のれん	7,081,058	6,714,043
販売権	15,458,344	14,675,092
その他	7,309,015	7,326,540
無形固定資産合計	29,848,418	28,715,676
投資その他の資産		
投資有価証券	5,968,466	6,797,890
退職給付に係る資産	9,759,827	9,799,859
その他	439,809	534,827
貸倒引当金	△6,098	△39,503
投資その他の資産合計	16,162,004	17,093,074
固定資産合計	69,135,859	69,625,521
資産合計	104,155,863	106,167,655
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,587,833	1,609,439
短期借入金	29,705,195	34,848,971
未払法人税等	249,172	410,913
賞与引当金	1,221,926	986,799
返品調整引当金	38,326	41,745
売上割戻引当金	70,606	83,090
その他	8,197,188	4,921,823
流動負債合計	41,070,248	42,902,783
固定負債		
長期借入金	5,470,705	4,866,800
退職給付に係る負債	1,123,751	1,180,834
資産除去債務	55,300	55,439
その他	3,757,012	3,772,923
固定負債合計	10,406,768	9,875,997
負債合計	51,477,017	52,778,781

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	11,685,121
利益剰余金	44,832,502	45,263,729
自己株式	△13,846,605	△14,155,728
株主資本合計	49,264,416	49,386,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△457,231	314,917
為替換算調整勘定	1,648,794	1,685,550
退職給付に係る調整累計額	2,054,482	1,838,266
その他の包括利益累計額合計	3,246,045	3,838,735
非支配株主持分	168,384	163,618
純資産合計	52,678,846	53,388,874
負債純資産合計	104,155,863	106,167,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	30,317,539	26,809,262
売上原価	8,555,897	7,859,013
売上総利益	21,761,642	18,950,248
返品調整引当金戻入額	46,813	38,326
返品調整引当金繰入額	47,535	41,745
差引売上総利益	21,760,919	18,946,829
販売費及び一般管理費	20,021,929	17,558,361
営業利益	1,738,990	1,388,468
営業外収益		
受取利息	12,703	11,764
受取配当金	144,551	174,173
その他	56,787	88,350
営業外収益合計	214,043	274,288
営業外費用		
支払利息	103,761	117,613
為替差損	80,297	425,747
貸倒損失	83,910	—
その他	56,729	21,957
営業外費用合計	324,698	565,317
経常利益	1,628,334	1,097,439
特別利益		
固定資産売却益	275	—
投資有価証券売却益	15	1,331
債務取崩益	—	671,431
特別利益合計	291	672,762
特別損失		
固定資産売却損	385	636
固定資産除却損	1,050	680
特別損失合計	1,436	1,317
税金等調整前四半期純利益	1,627,190	1,768,884
法人税等	395,017	549,714
四半期純利益	1,232,172	1,219,170
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,809	957
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,230,363	1,218,212



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,232,172	1,219,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△351,126	772,149
為替換算調整勘定	△474,302	34,387
退職給付に係る調整額	△407,680	△216,215
その他の包括利益合計	△1,233,110	590,321
四半期包括利益	△937	1,809,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,657	1,810,902
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,594	△1,411

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,627,190	1,768,884
減価償却費	1,631,334	1,819,336
のれん償却額	346,005	342,221
賞与引当金の増減額(△は減少)	△228,279	△276,256
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	229,069	129,817
受取利息及び受取配当金	△157,255	△185,938
支払利息	103,761	117,613
貸倒損失	83,910	—
売上債権の増減額(△は増加)	896,366	676,124
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,062,618	△917,985
仕入債務の増減額(△は減少)	726,667	△102,926
その他の流動資産の増減額(△は増加)	374,043	287,776
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△865,301	△1,653,971
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△684,040	△440,395
その他	15,391	△48,847
小計	3,036,244	1,515,454
利息及び配当金の受取額	157,269	185,952
利息の支払額	△107,237	△117,334
法人税等の支払額	△750,533	△377,319
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,335,743	1,206,753
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△362,662	△215,103
無形固定資産の取得による支出	△254,046	△1,790,811
投資有価証券の取得による支出	△1,019,789	△23,448
投資有価証券の売却による収入	1,769,737	198,775
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,464,640
その他	△212,575	△52,652
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,335	△4,347,881
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,670,357	4,799,262
長期借入れによる収入	500,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,317,895	△1,426,210
リース債務の返済による支出	△113,885	△108,551
自己株式の取得による支出	△3,084,376	△309,986
配当金の支払額	△811,434	△784,175
非支配株主への配当金の支払額	△2,245	△3,224
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,159,480	3,167,114
現金及び現金同等物に係る換算差額	△158,641	82,082
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△61,714	108,069
現金及び現金同等物の期首残高	7,920,049	8,880,252
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,858,335	8,988,321

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

特定子会社の異動には該当していませんが、2020年4月1日付で日水製薬医薬品販売株式会社の全株式を取得したため、第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

なお、同社は2020年6月29日付で健創製薬株式会社に社名を変更しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,691,149	14,549,130	30,240,280	77,259	30,317,539	—	30,317,539
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	65	65	297,156	297,222	△297,222	—
計	15,691,149	14,549,196	30,240,346	374,415	30,614,761	△297,222	30,317,539
セグメント利益	625,906	3,471,025	4,096,932	122,410	4,219,343	△2,480,352	1,738,990

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,480,352千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,494,146	12,237,116	26,731,262	77,999	26,809,262	—	26,809,262
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	49	49	263,892	263,942	△263,942	—
計	14,494,146	12,237,165	26,731,312	341,892	27,073,204	△263,942	26,809,262
セグメント利益	1,386,203	2,352,196	3,738,399	132,475	3,870,875	△2,482,407	1,388,468

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,482,407千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	14,494,146	△7.6
コンシューマーヘルスケア事業	12,237,116	△15.9
報告セグメント計	26,731,262	△11.6
その他	77,999	1.0
合 計	26,809,262	△11.6

(注) 1.セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2.金額は消費税等抜きで表示しております。

## (2) 主要製商品売上高 連結

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	増減(△)率(%)
1. 医療用医薬品事業	15,691,149	14,494,146	△7.6
アサコール	7,674,749	7,987,708	4.1
エントコート	2,279,415	1,896,953	△16.8
アコファイド	1,469,802	1,340,476	△8.8
その他	4,267,182	3,269,008	△23.4
2. コンシューマーヘルスケア事業	14,549,130	12,237,116	△15.9
ヘパリーゼ群	6,305,641	3,353,060	△46.8
コンドロイチン群	3,460,795	2,775,871	△19.8
ウィズワン群	824,999	784,795	△4.9
その他	3,957,693	5,323,388	34.5
3. その他の事業	77,259	77,999	1.0
合計	30,317,539	26,809,262	△11.6

## (3) 新薬パイプラインの状況

## I. 国内開発状況

(2020年11月4日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
フェーズⅢ (アジア共同治験)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅢ	Z-338/アコチアミド	ゼリア	小児機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ	ZG-801/Patiomer	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性ポリマー	導入品

## 発売となった開発品

発売日	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
2020年9月1日	Z-213/ カルボキシマルトース第二鉄 (販売名:フェインジェクト静注500mg)	ゼリア	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品

## II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認 (中国)	Z-206/メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア共同治験)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品

自社(Gr)品: 自社グループオリジナル品